

第二次小平市男女共同参画推進計画（平成19～28年度）

小平アクティブプラン21

推進状況調査報告書

（平成27年度実績）

平成28年9月

小 平 市

はじめに

本報告書は、第二次小平市男女共同参画推進計画（小平アクティブプラン 21）※の着実な推進を図るため、毎年度ごとに各事業の実績を集約し、計画の推進状況を明らかにするものです。

（※計画の期間：平成19～28年度までの10年間）

目次

1	計画の体系図	P 1
2	小平市男女共同参画推進審議会の意見	P 2
3	平成27年度推進状況調査報告書の要点	P 4
4	平成27年度推進状況	
	Ⅰ 働く場における男女の共同参画・仕事と家庭生活の両立	P 5
	Ⅱ 健康で安全な生活の実現	P 13
	Ⅲ 男女共同参画意識の浸透	P 17
	Ⅳ さまざまな分野での男女共同参画の促進	P 23
5	小平市における市政運営への女性の参画状況	P 27
	(1) 市議会	
	(2) 委員会等	
	(3) 小平市職員の男女割合	
	(4) 委員会等における男女割合（内訳）	
	（参考）管理職の状況（26市比較）	

※補足説明

（平成28年度予定欄）

- 「充実」：質の向上
- 「拡充」：数量的な増加
- 「推進」：新しい事業または従来の事業に新しい事業を加えるもの
- 「継続」：制度改正等がないかぎり変更なし
- 「検討」：実施検討するもの

計画の推進体制

男女共同参画推進計画を推進するために、庁内組織としての「男女共同参画推進本部、推進委員会」、公募市民と有識者、団体代表からなる「男女共同参画推進審議会」との連携を強化し、行政と市民のパートナーシップによる計画の推進・進行管理に努めることとしています。

小平市男女共同参画推進審議会

市民	4人以内
学識経験を有する者	4人以内
男女共同参画の推進に積極的に 取り組む事業者又は団体の代表	2人以内

小平市男女共同参画推進審議会規則

小平市男女共同参画推進本部（庁内）

市長
副市長
教育長
議会事務局長
企画政策部長
財務担当部長
総務部長
危機管理担当部長
市民部長
地域振興部長
文化スポーツ担当部長兼
健康・保険担当部長
子ども家庭部長
健康福祉部長
環境部長
都市開発部長
都市建設担当部長
会計管理者
教育部長
教育指導担当部長
地域学習担当部長
選挙管理委員会事務局長
監査事務局長（計2人）

男女共同参画推進委員会（庁内）

地域振興部長
地域振興部 市民協働・男女参画推進課長
企画政策部 政策課長
企画政策部 秘書広報課長
総務部 職員課長
市民部 市民課長
市民部 市民相談課長
地域振興部 産業振興課長
子ども家庭部 子育て支援課長
子ども家庭部 家庭支援担当課長
子ども家庭部 保育課長
健康福祉部 生活支援課長
健康福祉部 健康推進課長
環境部 環境政策課長
教育部 教育施策推進担当課長
教育部 地域学習支援課長
教育部 中央公民館長
（計17人）

1 計画の体系図

基本目標Ⅰ 働く場における男女の共同参画・仕事と家庭生活の両立

4 施策 39 事業

(課題1) 働く場における男女の機会の均等と待遇の充実

施策1 働く場における機会均等と待遇改善のための情報提供

施策2 女性の就労支援と経済的自立の支援

(課題2) 仕事と家庭生活の両立の支援

施策1 子育て支援の充実

施策2 男性の家事・育児・介護参加への支援・充実

基本目標Ⅱ 健康で安全な生活の実現

4 施策 23 事業

(課題1) 生涯にわたる健康保持の支援

施策1 健康保持・健康づくりへの支援

施策2 女性の生涯にわたっての健康支援

(課題2) 女性に対するあらゆる暴力の根絶のための施策の推進

施策1 パートナー間暴力の防止・根絶

施策2 セクシュアル・ハラスメントの防止

基本目標Ⅲ 男女共同参画意識の浸透

5 施策 29 事業

(課題1) あらゆる場での男女共同参画意識の醸成

施策1 家庭における男女共同参画の推進

施策2 学校教育における男女共同参画の推進

施策3 生涯学習における男女共同参画の推進

(課題2) 男女共同参画の視点に立った広報活動の推進等

施策1 意識啓発事業の推進

施策2 「メディア・リテラシー」の育成

基本目標Ⅳ さまざまな分野での男女共同参画の促進

4 施策 17 事業

(課題1) 政策・方針決定過程への男女共同参画

施策1 共同参画の拡大

施策2 市職員における男女共同参画の促進

(課題2) 地域活動における男女共同参画の促進

施策1 地域活動の推進

施策2 団体への支援と人材に関する情報収集

2 小平市男女共同参画推進審議会の意見

市は毎年、計画の推進状況を市長の附属機関「小平市男女共同参画推進審議会（以下「審議会」）に報告し、公表をしています。平成28年8月23日に開催された審議会で、平成27年度の事業実績が確認され、今後の事業展開に向けた意見をいただきました。

平成27年度事業実績に対する評価・意見

1 全体的に指摘したいこと

本審議会は、前期審議会から継続して、実績報告書の取りまとめに当たっては、第1に、PDCAサイクルの考え方に立ち、事業実績の把握と課題の抽出が行われること、第2に、市民からみて見やすい報告書が作成されることを求めてきた。この2つの点において、今年度の報告書も一歩前進したものとなった点があることを評価しておきたい。一方で現在、第三次男女共同参画推進計画を策定中であり、今後を展望する上で改めて指摘しておきたい点が3点ある。

第1は、個々の事業が、基本目標とそのもとの施策の中に明確な位置づけを持ち、男女共同参画の視点から見た個々の事業目的が明確となっていることの重要性である。第2は、実績の把握とその要因および課題を担当課の実情に照らしてとらえることの重要性である。担当課の負担も考慮しつつ、二歩三歩前進させるための検討が引き続き望まれる。第3は、基本目標や大きくくりの施策単位での評価の必要性である。それには、的確な基本目標の設定と構成施策の明確化、構成事業の絞りこみが行われることが前提であるが、このような評価が可能となれば、市民に伝わる、わかりやすい実績報告づくりにもつながるものである。

2 実績の記載について

担当課からの報告を受けるに際して、打ち合わせに工夫が見られ、前年度実績との対比の記述や参加人数の記載など、具体性を増した面が評価できる。

また、大きく進んだ事業や「拡充」「充実」のあった事業を取り出しての記載は、現場を励ます意味でも適切である。ただし、実績が前年と同内容のものや実績がないものについてその要因の把握が行われ、記載される必要があると思われる。さらに、講座等の参加者数は、男女別の人数の把握・記載も行われるべきである。

3 女性の市政運営への参画について

それぞれの委員会等の主管課では、構成メンバーへの女性参画を意識した取り組みが行われているようであり、その点は評価できる。それは、女性委員の総計が「附属機関」で163人から174人へ、「その他」で118人から144人へ増加した点に表れている。しかし、3種類に分類された委員会等において、女性がゼロの委員会等がそれぞれ1つずつある。この理由の把握を行い、目標達成に向けた取組が必要である。

また、女性の参画を全委員会等において30%以上とする目標を達成していない委員会等が、「行政委員会」で4、「附属機関」で12、「その他」で3、合計で19（39.6%）あることから、市政運営への女性参画は十分とはいえない。次期計画策定も見据えた、現計画期間内での精力的な取り組みを要請しておきたい。その際、市民公募枠における女性参画の推進の課題、市民公募枠を設けていない、専門性や学識経験者の就任を基本とする委員会における女性参画の推進の課題についても、検討をお願いしたい。

4 入札制度の活用について

入札制度における総合評価方式において、男女共同参画の視点で実績を加点する項目に改正されたことを評価したい。この仕組みを進めつつ、その効果を測定し、企業に男女共同参画の取り組みをさらに促す契約手法の研究・開発への取り組みも期待したい。

5 全市的取り組みの調全体制の強化

全庁的な取り組みの体制の整備という点では、小平市男女共同参画推進本部と男女共同参画推進委員会が庁内体制として整備され、本審議会はそれを評価するものであるが、ここでは、主管課としての市民協働・男女参画推進課の役割の重要性について指摘しておきたい。男女共同参画のための個別事業はそれぞれの担当課に任せ、男女共同参画推進計画の全体的推進の調整事務局としての役割を重点的に担えるように、担当事業の見直しを行うべきである。男女共同参画の啓発事業や男女共同参画センターの運営実務についても再考の余地がある。

6 今後に向けて

第三次男女共同参画推進計画の策定にあたり、上記の意見をふまえ、評価方法の充実を考慮して策定していただきたい。

3 平成27年度推進状況調査報告書の要点

平成27年度実績

平成27年度に大きく進んだ事業

ページ	No.	担当課	事業名
5	②	職員課	ポジティブ・アクション実施の促進
5	⑥	契約検査課	男女共同参画に関連した入札制度の研究
6	①	産業振興課	就職・再就職や職業能力開発のための教育・学習支援セミナーの開催

平成26年度の報告書の中で平成27年度の予定欄が「拡充」「充実」であり、大きく進んだ事業

ページ	No.	担当課	事業名
9	⑤・⑦	保育課	保育園の待機児童の解消・子育て支援事業
10	⑨	子育て支援課	子育て支援事業の周知徹底

平成28年度予定

- 充実・・・1件
- 拡充・・・2件
- 推進・・・0件
- 継続・・・121件
- 検討・・・1件
- —（廃止により該当なし）・・・2件

予定	ページ	No.	担当課	事業名
充実	7	①	子育て支援課	子ども家庭支援センター、子育て相談窓口の充実
拡充	9	⑤	保育課	保育園の待機児童の解消
拡充	14	⑥	高齢者支援課	寝たきり予防のための健康講座の推進
検討	22	②	市民協働・男女参画推進課	メディア・リテラシー育成のための講座の開催
—	8	③	子育て支援課	児童・青少年が活動する場の充実・拡大
—	13	①	健康推進課	地域健康づくりサポーター養成講座の開催

4 平成27年度推進状況

基本目標 I 働く場における男女の共同参画・仕事と家庭生活の両立

(課題1) 働く場における男女の機会の均等と待遇の充実

施策1 働く場における機会均等と待遇改善のための情報提供

No.	事業	担当課	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度予定
①	男女平等の労働条件整備の働きかけ				
	・パンフレット配布、ポスター掲示による啓発	市民協働・男女参画推進課	男女雇用平等推進月間（6月）のポスター掲示、窓口での資料・チラシの配架等を行った。	男女雇用平等推進月間（6月）及び女性活躍推進に関するポスター掲示、窓口での資料・チラシの配架等を行った。	継続
	・市報「こだいら」等による啓発				
	・資料配布等による労働環境整備の啓発	産業振興課	啓発のためのポスター、チラシ（東京都、ハローワーク等作成）の掲示、配架を行った。	啓発のためのポスター、チラシ（東京都等作成）の掲示、配架を行った。	継続
②	ポジティブ・アクション実施の促進	市民協働・男女参画推進課、職員課	（職員課） 次世代育成支援対策推進法に基づき特定事業主行動計画「HAPPYこだいら」を策定した。（平成27年3月）	（職員課） 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づき特定事業主行動計画「HAPPYこだいら～女性活躍編～」を策定した。（平成28年3月）	継続
③	パートタイム労働法などの事業者への普及	産業振興課	啓発のためのポスター、チラシ（東京都、ハローワーク等作成）の掲示、配架を行った。	啓発のためのポスター、チラシ（東京都等作成）の掲示、配架を行った。	継続
④	ハローワークと連携した求人情報の提供	産業振興課	求人情報チラシ（ハローワーク立川作成）の配架を行った。	求人情報チラシ（ハローワーク立川作成）の配架を行った。	継続
⑤	職業訓練校等と連携した能力開発機会の提供	産業振興課	職業能力開発に関するチラシ等の配架を行った。	募集案内チラシ（東京都職業能力開発センター作成）の配架を行った。	継続
⑥	男女共同参画に関連した入札制度の研究	契約検査課	総合評価方式の評価項目として「男女共同参画の推進（育児・介護休業制度等の有無）又は母子家庭等への就労を支援する取り組みの実績」を加点対象とし、施策の取得実績のある業者を加点対象としており、工事請負契約3件の総合評価方式を実施した。 なお、配点として、2つ以上の施策の取得実績があれば2点、1つの施策の取得実績があれば1点とした。 ※平成27年度からは、評価項目を「取り組みの実績」から「継続的に雇用している実績」に改正した。	平成27年度から総合評価方式の評価項目を「男女共同参画の推進（育児・介護休業制度等の実績の有無）又は母子家庭等の継続雇用の実績」へ改正し、工事請負契約5件の総合評価を実施した。 なお、配点として、2つ以上の施策の取得実績があれば2点、1つの施策の取得実績があれば1点とした。	継続

施策2 女性の就労支援と経済的自立の支援

No.	事業	担当課	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度予定
①	就職・再就職や職業能力開発のための教育・学習支援セミナーの開催	市民協働・男女参画推進課	女性のための就労支援講座を開催した（連続3回講座）。 講座名：「自分らしさを引き出して 輝くわたしに」 講師：小泉 久子 （産業カウンセラー・キャリアカウンセラー） 結木 利奈（㈱インビジブルビジョンズ代表） 参加者数：延べ32人 保育：延べ9人	男女共同参画推進講座「就労支援」として男女共同参画センター登録団体と共催で、ワールドカフェ（平成27年11月・平成28年2月に2回）を開催した。 テーマ：「女性の生き方・働き方」 参加者数：延べ46人 保育：延べ5人	継続
		産業振興課	ハローワーク、東京都等で開催するセミナー等の広報を行った。	ハローワーク立川、東京しごとセンター多摩等で開催するセミナー等の広報を行った。また「女性のための再就職支援事業」として、結婚や育児等で退職後、再就職を希望する女性に対しスキルアップ研修や市内事業所における就業体験を実施した。 ・参加者数：延べ49人 就業者数：4人	継続
②	マザーズハローワーク、こだいら就職情報室等の活用と広報の充実	子育て支援課	母子・父子自立支援員による就労相談・支援で活用し、必要な情報提供と、チラシの配架を行った。	母子・父子自立支援員による就労相談・支援で活用し、必要な情報提供と、チラシの配架を行った。	継続
		産業振興課	市報にPRを随時掲載し、こだいら就職情報室の利用促進を図った。	市報にPRを随時掲載し、チラシ（ハローワーク立川作成）を配架するなど、こだいら就職情報室の利用促進を図った。	継続
③	女性の起業に対する講座の開催や情報の提供	市民協働・男女参画推進課	チラシ等の配架による情報提供を行った。	チラシ等の配架による情報提供を行った。	継続
		産業振興課	東京都等で実施する事業のポスター、チラシの掲示、配架を行った。	情報提供のためのポスター、チラシ（東京都等作成）の掲示、配架を行った。	継続
④	事業支援の充実				
	・小口事業資金融資	産業振興課	小規模な事業を営む経営者を支援するため、金融機関に融資のあっせんをし、利子及び信用保証料の一部補助を実施した。また、「不況対策特別資金融資あっせん制度」で小規模事業者の資金繰りを支援した。	小規模な事業を営む経営者を支援するため、金融機関に融資のあっせんをし、利子及び信用保証料の一部補助を実施した。	継続
	・国民金融公庫融資「女性・中高年起業家支援資金」の紹介	産業振興課	チラシの配架等でPRを実施した。 ※平成20年度から日本政策金融公庫「女性・若者／シニア起業家支援資金」に変更された。	市の融資あっせん事業のチラシにその他の制度として掲載し、配架を行った。 ※平成20年度から日本政策金融公庫「女性・若者／シニア起業家支援資金」に変更された。	継続
・「家族経営協定」の紹介	産業振興課	認定農業者の育成・推進を図り、新たに4名の認定農業者が誕生し、計63人（事業者）となった。認定農業者のうち、家族経営協定は4件で変更なし。	認定農業者の育成・推進を図り、4名の認定農業者が再認定され、計61人（事業者）となった。認定農業者のうち、家族経営協定は4件で変更なし。	継続	
⑤	母子家庭の経済的自立のための支援 ・母子相談事業の実施	子育て支援課	ハローワークと連携し、就労相談・支援の充実を図るとともに、修学等に必要な資金の貸付を実施した。 ・就労相談件数：100件 ・母子及び父子福祉資金貸付件数：83件	ハローワークと連携し、就労相談・支援の充実を図るとともに、修学等に必要な資金の貸付を実施した。 ・就労相談件数：43件 ・母子及び父子福祉資金貸付件数：48件	継続

(課題2) 仕事と家庭生活の両立の支援

施策1 子育て支援の充実

No.	事業	担当課	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度予定
①	子ども家庭支援センター、子育て相談窓口の充実	子育て支援課	子ども家庭支援センター ・利用者数：13,311人 ・活動件数：19,101件 ※活動件数の捉え方を児童相談所に合わせ、相談家庭数から相談対象の子ども数に変更 子育て相談室 ・相談件数：380件 子育てふれあい広場 ・市立保育園全園 ・地域センター等11か所 子ども広場 ・地域センター等6か所	子ども家庭支援センター ・利用者数：11,799人 ・活動件数：22,264件 子育て相談室 ・相談件数：431件 子育てふれあい広場 ・市立保育園全園 ・地域センター等11か所 子ども広場 ・地域センター等6か所	充実
②	ファミリー・サポート・センター事業の充実	子育て支援課	会員登録数（累計）2,894人 ・利用会員：2,485人 ・提供会員：360人 ・両方会員：49人 ・利用件数：4,004件	会員登録数（累計）3,098人 ・利用会員：2,666人 ・提供会員：386人 ・両方会員：46人 ・利用件数：4,691件	継続
③	児童・青少年が活動する場の充実・拡大	子育て支援課	児童館事業（3か所） 年間利用者数 ・花小金井南児童館：小学生 9,183人 中学生 2,671人 高校生 762人 ・小川町二丁目児童館：小学生 13,189人 中学生 3,220人 高校生 592人 ・小川町一丁目児童館：小学生 13,884人 中学生 3,769人 高校生 1,154人 子ども広場（6か所） 年間利用者数 ・小川東町地域センター：小学生 2,864人 中学生 771人 ・さわやか館：小学生 10,095人 中学生 1,260人 ・中島地域センター：小学生 3,182人 中学生 617人 ・大沼地域センター：小学生 4,718人 中学生 151人 ・天神地域センター：小学生 5,093人 中学生 1,158人 ・上水本町地域センター：小学生 3,292人 中学生 1,404人	児童館事業（3か所） 年間利用者数 ・花小金井南児童館：小学生 9,559人 中学生 2,176人 高校生 504人 ・小川町二丁目児童館：小学生 13,525人 中学生 2,593人 高校生 819人 ・小川町一丁目児童館：小学生 14,860人 中学生 3,222人 高校生 1,355人 子ども広場（6か所） 年間利用者数 ・小川東町地域センター：小学生 3,557人 中学生 542人 ・さわやか館：小学生 9,450人 中学生 945人 ・中島地域センター：小学生 3,589人 中学生 479人 ・大沼地域センター：小学生 4,732人 中学生 111人 ・天神地域センター：小学生 5,848人 中学生 1,141人 ・上水本町地域センター：小学生 3,916人 中学生 1,750人	継続

No.	事業	担当課	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度 予定
③	児童・青少年が活動する場の充実・拡大	子育て支援課	青少年センター 年間利用者数9,622人 (前年度比+1,649人) (内訳)市内 1,765人、市外 6,225人、他 1,632人 (参考) ・小学生 : 3,881人 ・中学生 : 3,081人 ・高校生等 : 746人	青少年センター 年間利用者数8,054人 (前年度比△1,568人) (内訳)市内 1,803人、市外 5,556人、他 695人 (参考) ・小学生 : 3,171人 ・中学生 : 2,891人 ・高校生等 : 708人 ※青少年センターは平成28年3月31日に廃止した。	—
		地域学習支援課	青少年リーダー養成講座を実施した。 (年間14講座) ・ジュニア(小学5・6年生) : 40人 ・シニア(中学1年生～高校3年生) : 51人 姉妹都市小平町との青少年少女交歓交流事業を実施した。 (小平市で3泊4日)	青少年リーダー養成講座を実施した。 (年間14講座) ・ジュニア(小学5・6年生) : 40人 ・シニア(中学1年生～高校3年生) : 56人 姉妹都市小平町との青少年少女交歓交流事業を実施した。 (小平町で4泊5日)	継続
④	「児童虐待を防止するネットワーク」の充実	子育て支援課	要保護児童対策協議会代表者会議を1回、実務者部会を3回開催した。 小平市地区連絡協議会に学校、児童相談所、民生委員・児童委員協議会が参加し、ネットワークの強化に努めた。	要保護児童対策協議会代表者会議を1回、実務者部会を3回開催した。 小平市地区連絡協議会に学校、児童相談所、民生委員・児童委員協議会が参加し、ネットワークの強化に努めた。	継続
		関連部署	(指導課) 小平市地区連絡協議会に小・中学校全校が参加し、ネットワークの強化に努めた。	(指導課) 小平市地区連絡協議会に小・中学校全校が参加し、ネットワークの強化に努めた。	継続
⑤	保育事業の充実				
	・子どもショートステイ事業	子育て支援課	・利用延べ人数 : 121人 (前年比+29人)	・利用延べ人数 : 107人 (前年比△14人)	継続
	・幼稚園アットホーム事業	保育課	・実施園 : 8園 ・利用児童数 : 延べ3,354人	・実施園 : 7園 ・利用児童数 : 延べ3,139人	継続
	・市内保育施設入所可能数の一覧表作成	保育課	保育課窓口、市ホームページに一覧表を掲載した。	保育課窓口、市ホームページに一覧表を掲載した。	継続
・緊急一時保育事業	保育課	・実施園 : 公立10園 ・利用児童数 : 延べ20人 ・利用日数 : 延べ214日 このほか、就学前児童の一時的な保育を行う事業として、認可保育園において一時預かり事業を実施した。 ・実施園 : 7園(私立6園、公立1園) ・利用児童数 : 延べ6,569人 ・実施日数 : 延べ1,708日	・実施園 : 公立10園 ・利用児童数 : 延べ22人 ・利用日数 : 延べ177日 このほか、就学前児童の一時的な保育を行う事業として、認可保育園において一時預かり事業を実施した。 ・実施園 : 9園(私立8園、公立1園) ・利用児童数 : 延べ7,154人 ・実施日数 : 延べ1,905日	継続	

No.	事業	担当課	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度予定
⑤	・保育園の待機児童の解消	保育課	<p>・平成26年4月1日現在の待機児童数：167人 (前年比7人減)</p> <p>平成26年4月に私立保育園2園の新規開設(定員計160人)、5～7月に私立保育園3園の新規開設(定員166人)及び既存園1園の定員変更により、計327名の定員増を行った。</p>	<p>・平成27年4月1日現在の待機児童数：178人 (前年比11人増)</p> <p>平成27年4月に私立保育園2園の新規開設(定員計120人)、公立保育園からの移管による私立保育園の新規開設(定員129人中、21人増員)、公立保育園建替に伴う定員増(9人増員)、認定こども園認可外保育施設から私立保育園への移行(定員30人)があり、計180人の定員増を行った。</p>	拡充
⑥	学童クラブの充実	子育て支援課	<p>学童クラブ28か所を実施した。</p> <p>・年間延べ登録児童数：345,609人 ・年間延べ出席人数：198,339人 ・年間開設日数：293日</p>	<p>学童クラブ28か所を実施した。</p> <p>・年間延べ登録児童数：388,674人 ・年間延べ出席人数：217,202人 ・年間開設日数：294日</p>	継続
⑦	<p>地域の子育て支援の充実</p> <p>・子育て支援事業 ○ 子育てふれあい広場 ○ 子どもつどいの広場 ○ 子育ての知恵袋</p>	子育て支援課	<p>子育てふれあい広場事業については、市立保育園10園、地域センター等11か所を実施した。</p> <p>・交流(延べ参加人数)：10,517人 ・相談件数：1,344件</p> <p>子ども広場事業は6か所を実施した。</p> <p>・利用者数：70,483人 ・相談件数：576件</p> <p>※平成22年度から「子どもつどいの広場」を「子ども広場」に名称変更した。 ※「子育ての知恵袋」は平成22年度をもって事業廃止した。</p>	<p>子育てふれあい広場事業については、市立保育園10園、地域センター等11か所を実施した。</p> <p>・交流(延べ参加人数)：10,491人 ・相談件数：1,354件</p> <p>子ども広場事業は6か所を実施した。</p> <p>・利用者数：74,008人 ・相談件数：522件</p>	継続
		保育課	<p>保育園で遊ぼう会を5園で実施した。</p> <p>・交流人数：180人 公園で遊ぼう会を1回実施した。 ・交流人数：70人</p>	<p>保育園で遊ぼう会を10園で実施した。</p> <p>・交流人数：270人</p>	継続
⑧	<p>長期の育児・介護休業制度を導入する企業の褒章等の検討</p>	産業振興課	<p>制度周知のチラシ(東京都等作成)を配架した。</p>	<p>制度周知のチラシ(東京都等作成)を配架した。</p>	継続
		市民協働・男女参画推進課	<p>情報収集に努めた。</p>	<p>情報収集に努めた。</p>	継続

No.	事業	担当課	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度予定
⑨	子育て支援事業の周知徹底	子育て支援課	<p>子育てガイドを8,000部発行。公共施設及び母子手帳交付時、医師会・歯科医師会を通じて市内医療機関で配布した。</p> <p>健康課による新生児訪問の際に、子ども家庭支援センターのリーフレット、子育てふれあい広場のチラシを配布した。</p> <p>子育てガイド・広場事業についてホームページにて情報発信した。</p>	<p>子育てガイドを8,500部発行。公共施設及び母子手帳交付時、医師会・歯科医師会を通じて市内医療機関で配布した。</p> <p>健康推進課による新生児訪問の際に、子ども家庭支援センターのリーフレット、子育てふれあい広場のチラシを配布した。</p> <p>子育てガイド・広場事業についてホームページにて情報発信した。</p>	継続
⑩	ひとり親家庭へのきめ細かい支援	子育て支援課	<p>ひとり親家庭に対して手当の支給、医療費の助成を行い、ひとり親家庭の福祉の向上を図った。</p> <p>児童扶養手当 ・延べ20,978人(523,314,550円)</p> <p>児童育成手当 ・延べ26,863人(362,650,500円)</p> <p>ひとり親家庭医療費助成 ・対象者：1,038世帯(2,031人) ・医療助成費：60,821,062円</p>	<p>ひとり親家庭に対して手当の支給、医療費の助成を行い、ひとり親家庭の福祉の向上を図った。</p> <p>児童扶養手当 ・延べ20,656人(516,857,700円)</p> <p>児童育成手当 ・延べ26,531人(358,169,000円)</p> <p>ひとり親家庭医療費助成 ・対象者：1,017世帯(1,969人) ・医療助成費：62,828,227円</p>	継続
		子育て支援課	<p>母子・父子自立支援員が、ひとり親家庭の生活・住宅・養育や経済上の問題などの相談を行うとともに、ホームヘルパーの派遣を行った。</p> <p>・相談件数：1,914件 ・ヘルパー派遣：1,292時間(2,112,020円)</p>	<p>母子・父子自立支援員が、ひとり親家庭の生活・住宅・養育や経済上の問題などの相談を行うとともに、ホームヘルパーの派遣を行った。</p> <p>・相談件数：1,093件 ・ヘルパー派遣：1,259時間(2,069,390円)</p>	継続
⑪	家事、子育てを支援する講座の開催	公民館	<p>中央公民館及び分館で17コース実施した。</p> <p>・受講者数：444人 保育：88人</p>	<p>中央公民館及び分館で15コース実施した。</p> <p>・受講者数：309人 保育：85人</p>	継続

施策2 男性の家事・育児・介護参加への支援・充実

No.	事業	担当課	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度予定
①	家事・育児・介護教室の開催	公民館	家庭教育講座「親から子への「生きる力」のプレゼント」 ・1コース：10回実施 受講者数：42人 家庭教育講座「新米パパ・ママがふたりで聞きたい これから始まる子育ての話」 ・1コース：1回実施 受講者数：20人 高齢者学級「60代男性に贈る、やさしいランチの作り方」 ・1コース：10回実施 受講者数：20人 高齢者学級「はじめて学ぶ男の料理」 ・1コース：5回実施 受講者数：15人 サタデー講座「男飯(おとこめし)」 ・1コース：6回実施 受講者数：15人 タイムリー講座「介護は突然やってくる！知っておきたい介護のあれこれ」 ・1コース：10回実施 受講者数：25人	家事・育児教室は、基本目標Ⅰ課題2施策1⑩「家事、子育てを支援する講座」として実施した。 中央公民館及び分館で15コース ・受講者数：309人 保育：85人 介護教室は、成人団体指導者養成講座「そろそろぼちぼち介護入門」として実施。 ・1コース：2回実施 受講者数：31人	継続
		高齢者支援課	家族介護教室を地域包括支援センターごとに3回、計15回開催した。 ・参加者数：245人	家族介護教室を地域包括支援センターごとに3回、計15回開催した。 ・参加者数：251人	継続
②	家事・育児に関する「出前講座」の実施の検討	市民協働・男女参画推進課	「出前講座」の実施要望なし。	「出前講座」の実施要望なし。	継続
		子育て支援課	「出前講座」の実施要望なし。	「出前講座」の実施要望なし。	継続
③	男性の育児休業取得の奨励と拡大	職員課	小平市特定事業主行動計画において周知・啓発を行った。 男性職員2名が育児休業を取得した。	「仕事と子育てガイドブック」及び小平市特定事業主行動計画「HAPPYこだいら」を平成27年6月に職員全員に配付し、制度の周知・啓発を行った。 男性職員2名が育児休業を取得した。	継続
		産業振興課	啓発のためのポスター、チラシ（厚生労働省作成）の掲示、配架を行った。	啓発のためのポスター、チラシ（厚生労働省作成）の掲示、配架を行った。	継続

No.	事業	担当課	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度 予定
④	父親に向けた育児支援				
	・父親のための子育て支援講座	子育て支援課	子ども家庭支援センターの主催で、「父親講座・パパと遊ぼう！」を1回、父親向け「絵本の時間」を1回、「クリスマス会」（親子、母親の参加も可）を1回開催した。 ・参加組数：父親講座 8組 絵本の時間 9組 クリスマス会 59組	子ども家庭支援センターの主催で、父親向けに「わらべうたで遊びましょ」（親子、母親の参加も可）を2回開催した。 ・参加組数：5組	継続
	・「父親ハンドブック」の配布等、父親への育児情報の提供の充実	健康推進課	妊娠届出時に母子健康手帳と一緒に、父親ハンドブックを配付した。 ・妊娠届出件数：1,665件	妊娠届出時に母子健康手帳と一緒に、父親ハンドブックを配付した。 ・妊娠届出件数：1,606件	継続
・マタニティクラス(父親参加)の充実	健康推進課	ハローベビークラス ・1コース（3日間）：8回実施（延べ24日間） ・土曜クラス：2回実施（延べ2日間） ・父親の参加実数：300人	ハローベビークラス ・1コース（3日間）：8回実施（延べ24日間） ・土曜クラス：2回実施（延べ2日間） ・父親の参加実数：297人	継続	
⑤	介護者を支援する相談窓口や情報提供の充実	高齢者支援課	地域包括支援センター（出張所を含む）9か所で介護者からの相談の受付や情報提供を行った。 （「介護保険べんり帳」「高齢者のしおり」「市報」）	地域包括支援センター（出張所を含む）9か所で介護者からの相談の受付や情報提供を行った。 （「介護保険べんり帳」「高齢者のしおり」「市報」）	継続
⑥	男性の介護に対する意識啓発の推進	市民協働・男女参画推進課	実績なし。	「男女共同参画推進についての市民意識・実態調査」で男性の介護参加推進に必要なことについて等意見を伺った。	継続
⑦	家族介護教室等の情報提供	高齢者支援課	地域包括支援センターで家族介護教室等の情報提供を行った。	地域包括支援センターで家族介護教室等の情報提供を行った。	継続

基本目標Ⅱ 健康で安全な生活の実現

(課題1) 生涯にわたる健康保持の支援

施策1 健康保持・健康づくりへの支援

No.	事業	担当課	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度予定
健康づくり推進事業					
①	・健康づくり指導者の講習会への参加	健康推進課	東京都が開催する「健康づくり事業推進指導者研修」で保健師、栄養士が講習を受講した。 ・保健師2回 栄養士2回	東京都が開催する「健康づくり事業推進指導者研修」で保健師、栄養士が講習を受講した。 ・保健師6回 栄養士10回	継続
	・地域健康づくり推進員の委嘱	健康推進課	・推進員人数：24人 計測会2回、薬物乱用防止キャンペーン、献血推進キャンペーン、健康フェスティバル、ピンクリボンキャンペーンの参加のほか、「こだ健体操」の普及啓発に努めた。	・推進員人数：22人 計測会2回、薬物乱用防止キャンペーン、献血推進キャンペーン、健康フェスティバル、ピンクリボンキャンペーンの参加のほか、「こだ健体操」の普及啓発に努めた。	継続
	・地域健康づくりサポーター養成講座の開催	健康推進課	平成20年度から廃止した。	平成20年度から廃止した。	—
	・健康教室事業の推進	健康推進課	健康づくり講演会（年3回）：150人 乳がん検診時健康教室（年8回）：200人 胃検診時健康教室（年65回）：2,496人 出張健康教室（年34回）：728人 ヘルスアップ教室（年6回）：144人 栄養運動教室（年14回）：453人 こだいら健康塾～男性編～（年6回）：86人 こだいら健康塾～女性編～（年4回）：119人 計測相談会（年4回）：506人 ヘルスアップセミナー0B会（年3回）：66人 健康づくり相談（年105回）：1,004人 こだ健体操教室（年4回）：264人	健康づくり講演会（年3回）：152人 乳がん検診時健康教室（年4回）：95人 胃検診時健康教室（年64回）：2,524人 骨粗しょう症検診時健康教室（年12回）：576人 出張健康教室（年34回）：710人 ヘルスアップ教室（年6回）：149人 栄養運動教室（年12回）：380人 男性の料理教室（年6回）：200人 女性のリラックス教室（年4回）：115人 計測相談会（年4回）：342人 ヘルスアップセミナー0B会（年3回）：72人 健康づくり相談（年140回）：1,189人 こだ健体操サポーター養成講座（年3回）：55人	継続
健康教室の充実					
②	・生活習慣病予防・健康の増進・女性特有の疾病に関する知識の普及	健康推進課	3歳児健診、就学時健診時に保護者に対し、生活習慣病予防、女性特有疾患に関するチラシを配布した。 ・こだいら健康塾～女性編～（年4回）：119人	1歳6か月児健診・3歳児健診時に保護者に対し、生活習慣病予防、女性特有疾患に関するチラシを配布した。 ・女性のリラックス教室（年4回）：115人	継続
	・心身の健康に関する必要な助言・指導の実施	健康推進課	随時、相談等で医療機関などを紹介した。	随時、相談等で医療機関などを紹介した。	継続

No.	事業	担当課	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度予定
③	「健康づくり」「体力づくり」事業の推進	文化スポーツ課	<p>スポーツ教室 (親子体操教室・ボクシングエクササイズ・健康セラピー教室・リラックスエクササイズ教室等) ・9種目：11コース 参加者数：1,105人</p> <p>歩け歩け事業 (グリーンロード歩こう会、小平～多摩湖歩け歩け会、新春歩け歩けのつどい) ・3種目：3事業 参加者数：1,040人</p> <p>大会・スポーツまつり等 (市民スポーツまつり、市民体力測定会、こだいら市民駅伝大会、少年少女マラソン大会、ニュースポーツデー等) ・参加者数：5,639人</p> <p>多摩・島しょスポーツ振興事業 「FC東京選手によるトークショーとサッカー教室」 ・参加者数：1,350人</p>	<p>スポーツ教室 (親子でふれあい体操教室・ボクシングエクササイズ教室・整体ヨーガ教室・リラックスエクササイズ教室等) ・8種目：11コース 参加者数：634人</p> <p>歩け歩け事業 (グリーンロード歩こう会、小平～多摩湖歩け歩け会、新春歩け歩けのつどい) ・3種目：3事業 参加者数：907人</p> <p>大会・スポーツまつり等 (市民スポーツまつり、市民体力測定会、こだいら市民駅伝大会、少年少女マラソン大会、ニュースポーツデー等) ・参加者数：4,898人</p> <p>多摩・島しょスポーツ振興事業 「トップ選手に学ぶ！ジュニアバドミントン教室」 ・参加者数：延べ300人(3日間)</p>	継続
		健康推進課	健康教室の中で、健康づくりを推進した。	健康教室の中で、健康づくりを推進した。	継続
④	心の相談等の関係機関への紹介	健康推進課	随時、相談等で医療機関などを紹介した。	随時、相談等で医療機関等を紹介した。	継続
		障がい者支援課	精神保健福祉相談の中で、保健所、地域生活支援センター、医療機関等を紹介した。	精神保健福祉相談の中で、保健所、地域生活支援センター、医療機関等を紹介した。	継続
⑤	現代病相談(アレルギー疾患等)の関係機関への紹介	健康推進課	随時、相談等で医療機関等を紹介した。	随時、相談等で医療機関等を紹介した。	継続
⑥	寝たきり予防のための健康講座の推進	高齢者支援課	各種内容の介護予防講座を計91回開催した。 ・参加者数：1,329人	各種内容の介護予防講座を計130回開催した。 ・参加者数：2,350人	拡充
⑦	学校における健康安全教育の推進	指導課	学習指導要領に基づいて、指導を行った。	学習指導要領に基づいて、指導を行った。	継続

施策2 女性の生涯にわたっての健康支援

No.	事業	担当課	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度予定
①	女性に関する健康教育・健康相談の充実				
	・基本健康診査、子宮がん・乳がん検診受診の勧奨	健康推進課	乳がん・子宮がん検診通知発送時に、乳がん・子宮がん予防啓発のチラシを同封した。 基本健康診査は、平成20年度から廃止した。 ・こだいら健康塾～女性編～（年4回）：119人 ・ピンクリボンキャンペーン（年3回）：3,122人	乳がん・子宮がん検診通知発送時に、乳がん・子宮がん予防啓発のチラシを同封した。 基本健康診査は、平成20年度から廃止した。 ・女性のリラックス教室（年4回）：115人 ・ピンクリボンキャンペーン（年3回）：2,577人	継続
	・母親学級における保健教育、仲間づくり、保健指導の充実	健康推進課	ハローベビークラス ・1コース（3日間）：8回実施（延べ24日間） ・土曜クラス：2回実施（延べ2日間） ・父親の参加実数：300人	ハローベビークラス ・1コース（3日間）：8回実施（延べ24日間） ・土曜クラス：2回実施（延べ2日間） ・父親の参加実数：297人	継続
②	母子保健事業の充実	健康推進課	育児不安の強い母親を対象としたグループワークを年12回実施した。	育児不安の強い母親を対象としたグループワークを年12回実施した。	継続

(課題2) 女性に対するあらゆる暴力の根絶のための施策の推進

施策1 パートナー間の暴力の防止・根絶

No.	事業	担当課	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度予定
①	暴力と人権侵害防止に関する知識の普及・啓発の強化	市民協働・男女参画推進課	デートDV防止に関する学校出前講座を実施した。 講座名：「イチからわかるデートDV」 （平成27年1月、計1回） 会 場：東京学芸大学 講 師：アウェア認定ファシリテーター 参加者数：47人（大学1～4年生）	東京都のデートDVに関する啓発・相談カードを市役所の女性トイレに配架した。 市内大学へデートDV防止に関する出前講座について周知し、呼びかけを行った。	継続
②	DVIに関するパンフレットの作成	市民協働・男女参画推進課	情報提供（内閣府、東京都のパンフレット及び相談カードの配架）を行った。	情報提供（内閣府、東京都のパンフレット及び相談カードの配架）を行った。	継続

No.	事業	担当課	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度予定
③	女性相談窓口の充実と関係機関との連携	市民協働・男女参画推進課	女性相談室 ・相談件数888件/293日 (電話相談447件、面談441件) 市報、横断幕の掲示による周知・案内を行った。 関係機関との連携を図りながら問題解決に繋げている。	女性相談室 ・相談件数1,012件/294日 (電話相談518件、面談493件) 市報、横断幕の掲示及び公共施設への女性相談カードの配架により、周知・案内を行った。 関係機関との連携を図りながら問題解決に繋げている。	継続
④	母子自立支援員による相談指導、情報提供	子育て支援課	相談者の状況に応じた適切な対応に努めた。	相談者の状況に応じた適切な対応に努めた。	継続
⑤	緊急一時保護の充実	子育て支援課	被害者の安全確保を最優先に、関係機関と連携し迅速かつ組織的な対応に努めた。	被害者の安全確保を最優先に、関係機関と連携し迅速かつ組織的な対応に努めた。	継続
⑥	DV加害者対策の研究	市民協働・男女参画推進課	実績なし。	東京都の「配偶者暴力加害者対応マニュアル」等の研究を行った。	継続
⑦	⑦民間シェルターへの支援	市民協働・男女参画推進課	民間シェルター連絡会へ補助金を交付した。	民間シェルター連絡会へ補助金を交付した。	継続

施策2 セクシュアル・ハラスメントの防止

No.	事業	担当課	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度予定
①	女性相談窓口の充実と関係機関との連携(再掲)	市民協働・男女参画推進課	女性相談室 ・相談件数888件/293日 (電話相談447件、面談441件) 市報、横断幕の掲示による周知・案内を行った。 関係機関との連携を図りながら問題解決に繋げている。	女性相談室 ・相談件数1,012件/294日 (電話相談518件、面談493件) 市報、横断幕の掲示及び公共施設への女性相談カードの配架により、周知・案内を行った。 関係機関との連携を図りながら問題解決に繋げている。	継続
②	暴力と人権侵害防止に関する知識の普及・啓発の強化(再掲)	市民協働・男女参画推進課	デートDV防止に関する学校出前講座を実施した。 講座名：「イチからわかるデートDV」 (平成27年1月、計1回) 会 場：東京学芸大学 講 師：アウェア認定ファシリテーター 参加者数：47人(大学1～4年生)	東京都のデートDVに関する啓発・相談カードを市役所の女性トイレに配架した。 市内大学へデートDV防止に関する出前講座について周知し、呼びかけを行った。	継続

基本目標Ⅲ 男女共同参画意識の浸透

(課題1) あらゆる場での男女共同参画意識の醸成

施策1 家庭における男女共同参画の推進

No.	事業	担当課	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度 予定
	意識啓発事業の充実				
①	・広報誌「ひらく」の発行と広域配布の検討	市民協働・男女参画推進課	<p>公募市民（小平市男女共同参画推進実行委員会）の企画・編集による広報誌「ひらく」を発行した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・35号 8,000部（10月発行） ・36号 8,000部（3月発行） <p>創刊（平成9年1月）当初から、市民の目線で男女共同参画に関する広報誌を作成し、意識啓発を図っている。市内の公共施設や銀行、学校等、配布先を増やした。</p>	<p>公募市民（小平市男女共同参画推進実行委員会）の企画・編集による広報誌「ひらく」を発行した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・37号 8,000部（10月発行） ・38号 8,000部（3月発行） <p>創刊（平成9年1月）当初から、市民の目線で男女共同参画に関する広報誌を作成し、意識啓発を図っている。</p>	継続
	・「女と男のフォーラム」等の開催	市民協働・男女参画推進課	<p>男女共同参画に関する講演会を開催した。</p> <p>（小平市男女共同参画推進実行委員会の企画・運営）</p> <p>平成27年2月21日（土）中央公民館</p> <p>「笑って笑って考えよう 生き方 働き方 未来のこと」</p> <p>講師：瀬地山 角（東京大学大学院教授）</p> <p>参加者数：83人 保育：5人</p>	<p>男女共同参画に関する講演会を開催した。</p> <p>（小平市男女共同参画推進実行委員会の企画・運営）</p> <p>平成28年2月13日（土）中央公民館</p> <p>「まだ見ぬ自分を信じて チャレンジしよう！」</p> <p>講師：福島 敦子（ジャーナリスト）</p> <p>参加者数：112人 保育：3人</p>	継続
	・意識啓発講座の開催	市民協働・男女参画推進課	<p>男女共同参画推進実行委員会、男女共同参画センター登録団体共催による講座を実施した。</p> <p>NPOフェスタ in 元氣村ひろば2014</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者数：延べ130人 <p>ワールドカフェ 2回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者数：延べ59人 保育：延べ7人 	<p>男女共同参画センター登録団体共催による講座を実施した。</p> <p>NPOフェスタ in 元氣村ひろば2015</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者数：延べ263人 <p>ワールドカフェ 2回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者数：延べ46人 保育：延べ5人 	継続
	・「父親ハンドブック」の配布等、父親への育児情報の提供の充実(再掲)	健康推進課	<p>妊娠届出時に母子健康手帳と一緒に、父親ハンドブックを配付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊娠届出件数：1,665件 	<p>妊娠届出時に母子健康手帳と一緒に、父親ハンドブックを配付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊娠届出件数：1,606件 	継続

No.	事業	担当課	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度予定
②	子育てと介護の支援	子育て支援課	基本目標1課題2に掲げる子育て支援事業を実施した。	基本目標1課題2に掲げる子育て支援事業を実施した。	継続
		高齢者支援課	家族介護教室を地域包括支援センターで各3回、計15回開催した。 ・参加者数：245人	家族介護教室を地域包括支援センターで各3回、計15回開催した。 ・参加者数：251人	継続
③	生活実践講座の開催				
	・シルバー大学	公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・分館10館 受講者数：271人 講座開設回数：100回（各分館10回） ・中央公民館（シルバー大学） 受講者数：45人 講座開設回数：79回 <p>高齢者の生きがいのある社会づくりを目指し、高齢者の自己啓発と社会活動への積極的な参加と仲間づくりや交流を行い、教養・学習、趣味・技術、レクリエーション等の総合学習の場とした。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・分館10館 受講者数：218人 講座開設回数：100回（各分館10回） ・中央公民館（シルバー大学） 受講者数：23人 講座開設回数：24回 <p>高齢者の生きがいのある社会づくりを目指し、高齢者の自己啓発と社会活動への積極的な参加と仲間づくりや交流を行い、教養・学習、趣味・技術、レクリエーション等の総合学習の場とした。</p>	継続
	・女性問題関連の講習会、女性セミナー等	公民館	<p>市民講座の一環とし、「女性の生き方・権利等に関する講座」という事業名で開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前期1コース（10回）・後期1コース（11回） 受講者数：37人 <p>女性の生き方等をテーマに行っている。保育付きで行うこの講座は、人生観が変わるきっかけにもなる。今後も引き続き実施する。</p>	<p>市民講座の一環とし、「女性の生き方・権利等に関する講座」という事業名で開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前期1コース（10回）・後期1コース（10回） 受講者数：38人 <p>女性の生き方等をテーマに行っている。保育付きで行うこの講座は、人生観が変わるきっかけにもなる。今後も引き続き実施する。</p>	継続

施策2 学校教育における男女共同参画の推進

No.	事業	担当課	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度予定
①	教職員研修の充実	指導課	人権教育推進委員会や各学校における人権に関わる研修会等にて東京都人権施策推進指針に基づき研修を行った。	人権教育推進委員会や各学校における人権に関わる研修会等にて東京都人権施策推進指針に基づき研修を行った。	継続
②	進路指導の推進・充実	指導課	進路指導主任会で男女共同参画の視点を踏まえた指導を行うよう各学校に働きかけを行った。	進路指導主任会で男女共同参画の視点を踏まえた指導を行うよう各学校に働きかけを行った。	継続
③	健康安全教育に関する個別相談・指導の充実	指導課	学習指導要領に基づいて、発達段階に応じた指導を行った。また、小・中学校全校にスクールカウンセラーを配置している。	学習指導要領に基づいて、発達段階に応じた指導を行った。また、小・中学校全校にスクールカウンセラーを配置している。	継続
④	男女共同参画を意識した技術・家庭科教育の充実	指導課	学習指導要領に基づいて、指導を行った。	学習指導要領に基づいて、指導を行った。	継続

施策3 生涯学習における男女共同参画の推進

No.	事業	担当課	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度予定
①	夜間や休日に開催する講座の充実	公民館	夜間講座 ・12コース：105回実施 受講者数：227人 サタデー講座 ・5コース：29回実施 受講者数：90人 仕事などで昼間、公民館を利用できない人のための夜間講座は各公民館で開催している。	夜間講座 ・13コース：104回実施 受講者数：248人 サタデー講座 ・6コース：30回実施 受講者数：85人 仕事などで昼間、公民館を利用できない人のための夜間講座は各公民館で開催している。	継続
②	保育付き講座の充実	公民館	・保育付き主催講座14コース：乳幼児延べ877人 保育は子育て中の公民館活動を支援する重要な事業である。今後も「保育オリエンテーション」や運営会議等を実施し、利用者に対して保育事業の主旨を周知し、安全、安心な運営に努める。	・保育付き主催講座9コース：乳幼児延べ769人 保育は子育て中の公民館活動を支援する重要な事業である。今後も「保育オリエンテーション」や運営会議等を実施し、利用者に対して保育事業の主旨を周知し、安全、安心な運営に努める。	継続

No.	事業	担当課	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度 予定
③	青少年育成施策の充実	健康推進課	薬物乱用防止のポスター・標語募集、駅前キャンペーンを実施した。	薬物乱用防止のポスター・標語募集、駅前キャンペーンを実施した。	継続
		地域学習支援課	青少年健全育成講演会を開催した。 「最高の出会いが子どもたちを変える」 平成26年11月19日（水） 講師：伊藤 幸弘 （青少年育成コーディネーター） 参加者数：49人 保育：5人	青少年健全育成講演会を開催した。 「子どものやる気を引き出す魔法の質問」 平成27年11月18日（水） 講師：清川 香織 （魔法の質問認定講師、 キッズインストラクタートレーナー） 参加者数：52人 保育：5人	継続
④	生涯学習関係の指導者の育成	地域学習支援課	社会教育委員、青少年委員、青少年対策地区委員会に啓発パンフレット等を配付した。	社会教育委員、青少年委員、青少年対策地区委員会に啓発パンフレット等を配付した。	継続
⑤	男女平等の視点に立った大学公開講座の要請	市民協働・男女参画推進課	大学との連携として、大学が主催する公開講座を市報に掲載している。 この中で、男女平等の視点に立った大学公開講座の要請を行った結果、津田塾大学において「女性のリーダーシップから学ぶ」がシリーズとして実施された。	平成26年度に引続き「女性のリーダーシップから学ぶ」がシリーズとして実施された。	継続
⑥	男女共同参画に向けた「出前講座」の実施	市民協働・男女参画推進課	1回実施（平成27年1月） 「市のDV防止の取り組み及びDV被害者への支援」	「出前講座」の実施要望なし。	継続
⑦	各種支援ボランティアの拡大・充実	地域学習支援課	小平地域教育サポート・ネット事業を実施した。 学校支援ボランティア活動実績等 ・人数：延べ37,019人 ・時間：延べ60,346時間 ・講座開催数：110講座 ・参加者数：延べ3,180人	小平地域教育サポート・ネット事業を実施した。 学校支援ボランティア活動実績等 ・人数：延べ36,070人 ・時間：延べ51,656時間 ・講座開催数：108講座 ・参加者数：延べ2,458人	継続
		図書館	図書整理などを行う一般ボランティア、古文書整理の古文書ボランティア、地域情報のデジタル化作業を行っている情報ボランティア、対面朗読を行う音訳ボランティア及びカセットテープからデジター図書への変換作業を行うデジター図書編集ボランティアの5つのグループが活動した。 ・ボランティアの活動実績 218日 766人	図書整理などを行う一般ボランティア、古文書整理の古文書ボランティア、地域情報のデジタル化作業を行っている情報ボランティア、対面朗読を行う音訳ボランティア及びカセットテープからデジター図書への変換作業を行うデジター図書編集ボランティア、要介護等のために来館のできない高齢者に本を宅配する宅配ボランティアの6つのグループが活動した。 ・ボランティアの活動実績 279日 725人	継続

(課題2) 男女共同参画の視点に立った広報活動の推進等

施策1 意識啓発事業の推進

No.	事業	担当課	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度 予定
①	広報誌「ひらく」の発行と広域配布の検討(再掲)	市民協働・男女参画推進課	公募市民(小平市男女共同参画推進実行委員会)の企画・編集による広報誌「ひらく」を発行した。 ・35号 8,000部(10月発行) ・36号 8,000部(3月発行) 創刊(平成9年1月)当初から、市民の目線で男女共同参画に関する広報誌を作成し、意識啓発を図っている。市内の公共施設や銀行、学校等、配布先を増やした。	公募市民(小平市男女共同参画推進実行委員会)の企画・編集による広報誌「ひらく」を発行した。 ・37号 8,000部(10月発行) ・38号 8,000部(3月発行) 創刊(平成9年1月)当初から、市民の目線で男女共同参画に関する広報誌を作成し、意識啓発を図っている。	継続
②	「女と男のフォーラム」等の開催(再掲)	市民協働・男女参画推進課	男女共同参画に関する講演会を開催した。 (小平市男女共同参画推進実行委員会の企画・運営) 平成27年2月21日(土)中央公民館 「笑って笑って考えよう 生き方 働き方 未来のこと」 講師:瀬地山 角(東京大学大学院教授) 参加者数:83人 保育:5人	男女共同参画に関する講演会を開催した。 (小平市男女共同参画推進実行委員会の企画・運営) 平成28年2月13日(土)中央公民館 「まだ見ぬ自分を信じて チャレンジしよう!」 講師:福島 敦子(ジャーナリスト) 参加者数:112人 保育:3人	継続
③	意識啓発講座の開催(再掲)	市民協働・男女参画推進課	男女共同参画推進実行委員会、男女共同参画センター登録団体共催による講座を実施した。 NPOフェスタ in 元気村ひろば2014 ・参加者数:延べ130人 ワールドカフェ 2回 ・参加者数:延べ59人 保育:延べ7人	男女共同参画センター登録団体共催による講座を実施した。 NPOフェスタ in 元気村ひろば2015 ・参加者数:延べ263人 ワールドカフェ 2回 ・参加者数:延べ46人 保育:延べ5人	継続
④	市報「こいだいら」・ホームページによる啓発	市民協働・男女参画推進課、 (秘書広報課)	男女共同参画週間に合わせた掲載など、効果的な啓発に努めた。 (秘書広報課) 男女共同参画に関するイベントを周知した。 各メディアに対し積極的にプレスリリースを行った。	男女共同参画週間に合わせた掲載など、効果的な啓発に努めた。 (秘書広報課) 男女共同参画に関するイベントを周知した。 各メディアに対し積極的にプレスリリースを行った。	継続
⑤	アクティブプラン21の市民への周知	市民協働・男女参画推進課	公共施設や市政資料コーナーなどで閲覧できるよう配置するほか、ホームページに掲載した。	公共施設や市政資料コーナーなどで閲覧できるよう配置するほか、ホームページに掲載した。	継続
⑥	男女平等の視点に立った市刊行物発行のガイドラインの充実	秘書広報課	「広報紙・パンフレットなどを作成するときの視点」(ガイドライン)を庁内に周知し、さらなる意識の向上を図った。	「広報紙・パンフレットなどを作成するときの視点」(ガイドライン)を庁内に周知し、さらなる意識の向上を図った。	継続

No.	事業	担当課	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度予定
⑦	市の刊行物において、表現や男女の比率などへの留意	各課	<p>(秘書広報課) 市報「こだいら」にて人物のイラストを用いる際には、女性と男性を併用して、男女の平等感の表現に努めた。</p> <p>(職員課) 職員採用案内には女性と男性を載せている。</p>	<p>(秘書広報課) 市報「こだいら」にて人物のイラストや写真を用いる際には、女性と男性を併用するほか、女性のイメージがあるものをあえて男性の写真で紹介するなど、男女の平等感の表現に努めた。</p> <p>(職員課) 職員採用案内には女性と男性を載せている。</p>	継続

施策2 「メディア・リテラシー」の育成

No.	事業	担当課	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度予定
①	市報「こだいら」の充実	秘書広報課	「広報紙・パンフレットなどを作成するときの視点」(ガイドライン)をもとに、市報「こだいら」の作成に当たっても意識を持つようになっている。また、人物のイラストや写真を用いる際には、できる限り女性と男性、子どもを多用して、平等感の表現に努めた。	「広報紙・パンフレットなどを作成するときの視点」(ガイドライン)をもとに、市報「こだいら」の作成に当たっても意識を持つようになっている。また、市報「こだいら」にて人物のイラストや写真を用いる際には、女性と男性を併用するほか、女性のイメージがあるものをあえて男性の写真で紹介するなど、男女の平等感の表現に努めた。	継続
②	メディア・リテラシー育成のための講座の開催	市民協働・男女参画推進課	小平市国分寺市共催講演会を開催した。 平成26年6月7日(土) 国分寺Lホール 「番組やCMのシカケの裏側をのぞく」 講師：諸橋 泰樹(フェリス女学院大学教授) 参加者数：97人	未実施	検討
③	学校でのメディア・リテラシーの教育の充実	指導課	小学校では「総合的な学習の時間」を中心に、中学校では「技術・家庭(技術分野)」にて指導を行った。	小学校では「総合的な学習の時間」を中心に、中学校では「技術・家庭(技術分野)」にて指導を行った。	継続
④	図書等の充実	市民協働・男女参画推進課	広報誌「ひらく」で紹介した書籍を男女共同参画センターに配架し、貸出しを行った。	広報誌「ひらく」で紹介した書籍を男女共同参画センターに配架し、貸出しを行った。	継続
		図書館	関係分野の資料収集に努めた。	関係分野の資料収集に努めた。	継続

基本目標Ⅳ さまざまな分野での男女共同参画の推進

(課題1) 政策・方針決定過程への男女共同参画

施策1 共同参画の拡大

No.	事業	担当課	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度予定
①	審議会・委員会等における女性委員の参画促進	市民協働・男女参画推進課	審議会・委員会等における男女共同参画の進捗状況調査を実施。全庁に女性委員の登用状況について調査を行うことで、参画促進への協力を促した。	審議会・委員会等における男女共同参画の進捗状況調査を実施。全庁に女性委員の登用状況について調査を行うことで、参画促進への協力を促した。	継続
②	各種機関への女性登用の協力要請	市民協働・男女参画推進課	審議会・委員会等における男女共同参画の進捗状況調査を実施。全庁に女性委員の登用状況について調査を行うことで、参画促進への協力を促した。	審議会・委員会等における男女共同参画の進捗状況調査を実施。全庁に女性委員の登用状況について調査を行うことで、参画促進への協力を促した。	継続
		市民相談課	(市民相談課) 法律相談の女性利用者の視点から、離婚相談などへの配慮として女性弁護士の派遣依頼を行い、女性弁護士による相談が受けられるようになった。 法律相談弁護士6人のうち3人の女性弁護士が担当した。	(市民相談課) 法律相談の女性利用者の視点から、離婚相談などへの配慮として女性弁護士の派遣依頼を行い、女性弁護士による相談が受けられるようになった。 法律相談弁護士6人のうち3人の女性弁護士が担当した。	継続
③	女性の政策・方針決定過程への参画状況調査の実施と情報公開の促進	市民協働・男女参画推進課	審議会・委員会等における男女共同参画の推進状況調査を実施し「小平市男女共同参画推進審議会」へ報告し、情報公開した。	審議会・委員会等における男女共同参画の推進状況調査を実施し「小平市男女共同参画推進審議会」へ報告し、情報公開した。	継続

No.	事業	担当課	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度予定
④	審議会等附属機関の市民公募枠の拡大	政策課	審議会等における市民公募委員については、委員の改選時をとらえながら、現行の委員総数の枠内でできる限り、委員数の概ね4割から5割の水準で公募枠を確保するよう調整を行った。	審議会等における市民公募委員については、委員の改選時をとらえながら、現行の委員総数の枠内でできる限り、委員数の概ね4割から5割の水準で公募枠を確保するよう調整を行った。	継続
⑤	男女共同参画推進活動団体等の支援	市民協働・男女参画推進課	男女共同参画センター（愛称：ひらく）登録団体に対して、団体利用や印刷利用を通じて自主活動を支援した。	男女共同参画センター（愛称：ひらく）登録団体に対して、団体利用や印刷利用を通じて自主活動を支援するとともに懇談会を開催して、情報共有を図った。	継続
⑥	成人団体指導者養成講座の実施	公民館	市民講座の一環とし3コース11回実施した。 「災害を乗り越えるために必要なこと」 ・5回 受講者数：25人 「3.11でつながる小平の輪」 ・5回 受講者数：20人 「知的障がいを理解する」 ・1回 受講者数：13人	市民講座の一環とし3コース7回実施した。 「夏休み学習室小学校学習支援ボランティア要請講座」 ・3回 受講者数：13人 「そろそろぼちぼち介護入門」 ・2回 受講者数：31人 「地域のつながりを考える講座」 ・2回 受講者数：13人	継続
⑦	ホットHOTこいだらファミリーデイ事業等家族の絆を深める事業の啓発	地域学習支援課	・参加事業数：82件 （教育委員会13、市15、青少対51、自治会1、ロータリークラブ2） ・土曜サービスデイ参加店舗数：12店舗	・参加事業数：96件 （教育委員会15、市19、青少対59、自治会1、ロータリークラブ2） ・土曜サービスデイ参加店舗数：10店舗	継続

施策2 市職員における男女共同参画の推進

No.	事業	担当課	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度予定
①	男女職員の職域の拡大	職員課	異動等において職域拡大に努めた。	異動等において職域拡大に努めた。	継続
②	昇任試験受験の奨励	職員課	引き続き女性職員の受験について勧奨している。	引き続き女性職員の受験について勧奨している。	継続

No.	事業	担当課	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度予定
③	管理職に占める女性職員の割合を高めるよう努める	職員課	課長補佐以上 133人中21人 (15.8%)	課長補佐以上 136人中22人 (16.2%)	継続
職員研修の充実					
④	・男女共同参画推進のための研修	職員課	市独自研修として男女共同参画・セクシュアルハラスメント防止研修を実施した。 ・受講者数：16人（男性16人） 東京都市町村職員研修所の男女共同参画社会形成研修に派遣した。 ・派遣者数：21人（男性16人、女性5人）	市独自研修として男女共同参画・セクシュアルハラスメント防止研修を実施した。 ・受講者数：11人（男性9人、女性2人） 東京都市町村職員研修所の男女共同参画社会形成研修に派遣した。 ・派遣者数：17人（男性14人、女性3人）	継続
⑤	職場内における慣行・男女の役割分担の見直し	各課	（職員課） 従来から男女で差を設けていない。	（職員課） 従来から男女で差を設けていない。	継続
⑥	セクシュアル・ハラスメント防止に対する苦情相談・防止策の充実	各課	（職員課） 相談等の実績なし。新任研修等で、相談先等を説明している。	（職員課） 相談等の実績なし。新任研修等で、相談先等を説明している。	継続

（課題2）地域活動における男女共同参画の促進

施策1 地域活動の推進

No.	事業	担当課	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度予定
地域活動等における男女共同参画の啓発					
①	・自治会やPTA等への参画促進	市民協働・男女参画推進課	自治会及び地域活動等に必要な情報を、適宜自治会長宛に配信した。	自治会及び地域活動等に必要な情報を、適宜自治会長宛に配信した。	継続
		地域学習支援課	PTAを対象とする講演会の開催など、小平市立小学校PTA連合会及び小平市立中学校PTA連合会の活動支援を行った。	PTAを対象とする講演会の開催など、小平市立小学校PTA連合会及び小平市立中学校PTA連合会の活動支援を行った。	継続

No.	事業	担当課	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度予定
①	各種講座の開設による学習機会の提供と社会参加の促進	公民館	<p>定期講座では市民講座・シルバー大学・家庭教育・子育て支援に関する講座・女性セミナー・ヤングセミナー・サタデー講座・ジュニア講座・パソコン講座等の実施した。</p> <p>・受講者数：2,006人（88コース、703回実施）</p> <p>地域社会の教育力の向上のために、学習の成果を地域活動に活かすことができる仕組みづくりを推進する。26年度に主催講座から派生した自主サークルは、10サークルで、講座終了後は独自で活動していくことになる。学習をサークル内だけに留めることなく地域の仲間を募り、更には学んだことが地域に還元されるよう指導、助言に努めた。</p>	<p>定期講座では市民講座・シルバー大学・家庭教育・子育て支援に関する講座・女性セミナー・ヤングセミナー・サタデー講座・ジュニア講座・パソコン講座等の実施した。</p> <p>・受講者数：2,277人（84コース、636回実施）</p> <p>地域社会の教育力の向上のために、学習の成果を地域活動に活かすことができる仕組みづくりを推進する。27年度に主催講座から派生した自主サークルは、21サークルで、講座終了後は独自で活動していくことになる。学習をサークル内だけに留めることなく地域の仲間を募り、更には学んだことが地域に還元されるよう指導、助言に努めた。</p>	継続

施策2 団体への支援と人材に関する情報収集

No.	事業	担当課	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度予定
①	女性団体等活性化に向けての支援と活動拠点整備の検討	市民協働・男女参画推進課	<p>男女共同参画センター登録団体等と協力し、男女共同参画センター（愛称：ひらく）での講座やイベントを開催した。</p> <p>NPOフェスタ in 元氣村ひろば2014（平成26年10月）</p> <p>・参加者数：延べ130人</p>	<p>男女共同参画センター登録団体と懇談会を行い、参加・共催団体を募り、男女共同参画センター（愛称：ひらく）での講座やイベントを開催した。</p> <p>NPOフェスタ in 元氣村ひろば2015（平成27年10月）</p> <p>・参加者数：延べ263人</p> <p>ワールドカフェ 2回（平成27年11月、平成28年2月）</p> <p>・参加者数：延べ46人 保育：延べ5人</p> <p>男女共同参画センターの平成28年度からの管理・運営方法について、アンケートと懇談会により意見を収集した。</p>	継続
②	人材に関する情報収集の推進	市民協働・男女参画推進課	他区市の情報収集を行った。	他区市の情報収集を行った。	継続

5 小平市における市政運営への女性の参画状況

(1) 市議会

		全議員数	女性議員数	割合(%)
平成28年4月1日現在	議員数	28	10	35.7
平成27年5月1日現在	議員数	28	10	35.7

(2) 委員会等

		対象委員会数	うち女性委員の いる委員会数	割合(%)	委員総数	女性委員数	割合(%)
平成28年4月1日現在	行政委員会	5	4	80.0	30	4	13.3
	附属機関	32	31	96.9	447	174	38.9
	その他	14	13	92.9	300	144	48.0
	合計	51	48	94.1	777	322	41.4
平成27年4月1日現在	行政委員会	5	4	80.0	30	4	13.3
	附属機関	30	28	93.3	431	163	37.8
	その他	13	13	100.0	260	118	45.4
	合計	48	45	93.8	721	285	39.5

(3) 小平市職員の男女割合

		管理職 ※課長補佐以上			係長職			その他の職 (主任・主事)			計		
		総数 A	うち女性 管理職数	女性割合 (%)	総数 B	うち女性 係長数	女性割合 (%)	総数 C	うち女性 職員数	女性割合 (%)	A+B+C	うち 女性	女性割合 (%)
平成28年 4月1日 現在	事務系	113	10	8.8	119	33	27.7	367	138	37.6	599	181	30.2
	福祉系	10	10	100.0	11	11	100.0	135	131	97.0	156	152	97.4
	技術系	11	2	18.2	16	4	25.0	71	36	50.7	98	42	42.9
	技能系	0	0	0	0	0	0	76	72	94.7	76	72	94.7
	合計	134	22	16.4	146	48	32.9	649	377	58.1	929	447	48.1
平成27年 4月1日 現在	事務系	114	10	8.8	113	25	22.1	357	135	37.8	584	170	29.1
	福祉系	11	11	100.0	12	12	100.0	139	135	97.1	162	158	97.5
	技術系	11	1	9.1	15	4	26.7	61	33	54.1	87	38	43.7
	技能系	0	0	0	0	0	0	79	75	94.9	79	75	94.9
	合計	136	22	16.2	140	41	29.3	636	378	59.4	912	441	48.4

(4) 委員会等における男女割合 (内訳)

① 行政委員会 (地方自治法第180条の5)

(平成28年4月1日現在)

1	名称	総委員数 ()内は女性		女性/総委員数 割合%	担当課
1	教育委員会	5	(1)	20.0	教育総務課
2	選挙管理委員会	4	(1)	25.0	選挙管理委員会事務局
3	監査委員	2	(0)	0.0	監査事務局
4	固定資産評価審査委員会	3	(1)	33.3	総務課
5	農業委員会	16	(1)	6.3	産業振興課
	合計	30	(4)	13.3	

② 附属機関（法律・条例により設置されているもの（地方自治法第202条の3））

（平成28年4月1日現在）

名 称	総委員数 ()内は女性		市民公募委員 ()内は女性		女性／総委員数 割合%	担当課
1 行政不服審査会	5	(2)	—	—	40.0	総務課
2 情報公開・個人情報保護審議会	8	(2)	4	(1)	25.0	総務課
3 公務災害補償等審査会	3	(0)	—	—	0.0	職員課
4 防災会議	32	(6)	—	—	18.8	防災危機管理課
5 国民保護協議会	33	(5)	2	(1)	15.2	防災危機管理課
6 男女共同参画推進審議会	10	(7)	4	(3)	70.0	市民協働・男女参画推進課
7 文化財保護審議会	10	(4)	3	(0)	40.0	文化スポーツ課
8 子ども・子育て審議会	16	(8)	7	(7)	50.0	子育て支援課
9 青少年問題協議会	16	(6)	3	(2)	37.5	子育て支援課
10 民生委員推薦会	12	(4)	—	—	33.3	生活支援課
11 介護認定審査会	45	(17)	—	—	37.8	高齢者支援課
12 障害支援区分判定等審査会	15	(5)	—	—	33.3	障がい者支援課
13 予防接種事故調査委員会	5	(1)	—	—	20.0	健康推進課
14 国民健康保険運営協議会	17	(5)	3	(2)	29.4	保険年金課
15 環境審議会	12	(2)	5	(1)	16.7	環境政策課
16 廃棄物減量等推進審議会	20	(5)	10	(3)	25.0	資源循環課
17 都市計画審議会	15	(1)	2	(0)	6.7	都市計画課
18 土地利用審議会	5	(1)	—	—	20.0	都市計画課
19 地区まちづくり審議会	7	(1)	3	(0)	14.3	都市計画課
20 学校給食共同調理場運営委員会	13	(8)	4	(4)	61.5	学務課
21 小平第三小学校学校経営協議会	13	(10)	2	(2)	76.9	指導課
22 小平第四小学校学校経営協議会	12	(5)	2	(1)	41.7	指導課
23 小平第六小学校学校経営協議会	15	(9)	2	(2)	60.0	指導課
24 小平第七小学校学校経営協議会	12	(7)	1	(0)	58.3	指導課
25 小平第八小学校学校経営協議会	14	(8)	2	(1)	57.1	指導課
26 小平第十四小学校学校経営協議会	14	(8)	2	(2)	57.1	指導課
27 学園東小学校学校経営協議会	15	(11)	2	(2)	73.3	指導課

名 称		総委員数 ()内は女性		市民公募委員 ()内は女性		女性／総委員数	担当課
						割合%	
28	小平第六中学校学校経営協議会	10	(6)	0	(0)	60.0	指導課
29	いじめ問題対策委員会	8	(2)	—	—	25.0	指導課
30	社会教育委員	10	(7)	4	(3)	70.0	地域学習支援課
31	公民館運営審議会	13	(5)	5	(1)	38.5	公民館
32	図書館協議会	12	(6)	5	(3)	50.0	図書館
合計		447	(174)	77	(41)	38.9	

③ その他（要綱等により設置されている類似機関等）

（平成 28 年 4 月 1 日現在）

名 称		総委員数 ()内は女性		市民公募委員 ()内は女性		女性／総委員数	担当課
						割合%	
1	まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会	15	(8)	6	(4)	53.3	政策課
2	行財政再構築推進委員会	6	(1)	3	(1)	16.7	行政経営課
3	入札等監視委員会	3	(1)	—	—	33.3	契約検査課
4	技能功労者選考委員会	5	(0)	—	—	0.0	産業振興課
5	農のあるまちづくり推進会議	14	(5)	5	(2)	35.7	産業振興課
6	地域保健福祉推進会議	15	(3)	—	—	20.0	生活支援課
7	介護保険運営協議会	15	(6)	6	(4)	40.0	高齢者支援課
8	地域自立支援協議会	15	(6)	—	—	40.0	障がい者支援課
9	保健事業連絡協議会	18	(8)	—	—	44.4	健康推進課
10	緑化推進委員会	13	(4)	6	(4)	30.8	水と緑と公園課
11	献立作成委員会	17	(16)	8	(8)	94.1	学務課
12	就学支援委員会	97	(56)	—	—	57.7	学務課
13	小学校給食運営委員会	59	(27)	—	—	45.8	学務課
14	特別支援教育専門家委員会	8	(3)	—	—	37.5	指導課
合 計		300	(144)	34	(23)	48.0	

(参考) 管理職の状況 (26 市比較)

(平成 27 年 4 月 1 日現在)

	管理職			うち事務系職員									(A+B+C) 総数	うち女性	女性割合 (%)
	管理職総数	うち女性管理職数	女性割合 (%)	管理職数 A	うち女性管理職数	女性割合 (%)	係長職数 B	うち女性係長数	女性割合 (%)	その他の職 C	うち女性職員数	女性割合 (%)			
八王子市	168	17	10.1	131	15	11.5	447	49	11.0	1129	477	42.2	1707	541	31.7
立川市	83	13	15.7	66	12	18.2	163	42	25.8	442	160	36.2	671	214	31.9
武蔵野市	103	9	8.7	79	8	10.1	162	54	33.3	400	220	55.0	641	282	44.0
三鷹市	138	33	23.9	93	13	14.0	106	23	21.7	367	174	47.4	566	210	37.1
青梅市	174	42	24.1	59	5	8.5	138	15	10.9	395	158	40.0	592	178	30.1
府中市	124	12	9.7	108	10	9.3	130	17	13.1	540	293	54.3	778	320	41.1
昭島市	66	6	9.1	58	6	10.3	106	25	23.6	266	111	41.7	430	142	33.0
調布市	156	19	12.2	133	16	12.0	164	50	30.5	561	261	46.5	858	327	38.1
町田市	305	56	18.4	161	13	8.1	347	70	20.2	942	445	47.2	1450	528	36.4
小金井市	68	11	16.2	63	11	17.5	89	18	20.2	270	110	40.7	422	139	32.9
小平市	136	22	16.2	114	10	8.8	113	25	22.1	357	135	37.8	584	170	29.1
日野市	221	52	23.5	117	21	17.9	102	33	32.4	410	169	41.2	629	223	35.5
東村山市	77	7	9.1	77	7	9.1	157	32	20.4	316	146	46.2	550	185	33.6
国分寺市	72	7	9.7	63	5	7.9	97	26	26.8	258	111	43.0	418	142	34.0
国立市	54	5	9.3	44	5	11.4	66	13	19.7	178	68	38.2	288	86	29.9
福生市	52	6	11.5	49	5	10.2	104	32	30.8	180	72	40.0	333	109	32.7
狛江市	58	11	19.0	47	6	12.8	47	11	23.4	175	75	42.9	269	92	34.2
東大和市	60	6	10.0	54	5	9.3	90	15	16.7	237	100	42.2	381	120	31.5
清瀬市	43	3	7.0	43	3	7.0	64	15	23.4	203	103	50.7	310	121	39.0
東久留米市	47	4	8.5	36	3	8.3	79	17	21.5	262	124	47.3	377	144	38.2
武蔵村山市	54	4	7.4	50	4	8.0	83	11	13.3	187	79	42.2	320	94	29.4
多摩市	76	11	14.5	66	10	15.2	160	43	26.9	398	210	52.8	624	263	42.1
稲城市	91	19	20.9	48	10	20.8	81	22	27.2	192	72	37.5	321	104	32.4
羽村市	62	8	12.9	62	8	12.9	81	4	4.9	150	85	56.7	293	97	33.1
あきる野市	55	3	5.5	44	3	6.8	103	20	19.4	186	74	39.8	333	97	29.1
西東京市	66	8	12.1	57	1	1.8	156	37	23.7	363	165	45.5	576	203	35.2

東京都	3,124	573	18.3	1,629	298	18.3	5,038	1,694	33.6	12,414	6,484	52.2	19,081	8,476	44.4
-----	-------	-----	------	-------	-----	------	-------	-------	------	--------	-------	------	--------	-------	------

(東京都については平成 26 年 4 月 1 日のデータ)

東京都生活文化局都民生活部男女平等参画課「区市町村男女平等参画施策推進状況調査報告書」より作成

第二次小平市男女共同参画推進計画
小平アクティブプラン2 1 推進状況調査報告書
(平成27年度)

平成28年9月発行

編集・発行 小平市地域振興部市民協働・男女参画推進課
〒187-8701

東京都小平市小川町2丁目1333番地

電話 042-346-9618

電子メール kyodo-danjo@city.kodaira.lg.jp

価格 ￥160